

# 北東京エリア ふれあいの橋の会 議事録

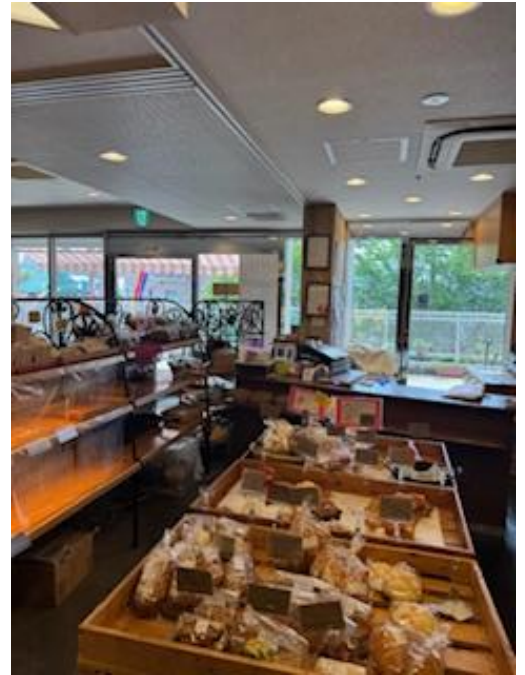
就労継続支援 A 型事業所 ブレッド&バター 視察・意見交換会

\* 大規模修繕後の新しくなった調理室・厨房を中心に事業所を見学したのちに意見交換会を実施した

【日 時】 令和8年4月24日金 14:30~15:30

【出席者】 委員:伴野委員 常住委員 風間委員

エリア:布施総合施設長 藤井管理者



## 藤井

「当事業所は就労継続支援 A 型として運営しており、基本的にはパンの売上による利益から利用者の賃金を支払う仕組みになっています。これは制度上の原則で、仮に国からの給付金を賃金に充ててしまうと“不適切な経営”と判断され、行政から指導が入る可能性があります。」

## 伴野委員

「つまり、福祉サービスでありながら、一般企業と同じように“事業として利益を出す力”が求められるということですね。」

## 藤井

「その通りです。ただ、障害のある方のみで生産活動を行い、安定した売上を確保するのは非常に難しいのが現状です。実際、就労 A 型事業所の約半数は赤字と言われており、報酬改定のたびに A 型から B 型へ移行したり、閉鎖に至る事業所も少なくありません。北区でも同様の動きが見られています。」

「当事業所も以前は毎年赤字が続いていましたが、ここ最近は徐々に経営が安定し、ようやく適正な運営ができる段階になってきました。」

---

## 伴野委員

「大きな企業などと契約を取っている点は驚きました。そうした営業努力も相当されてきたのではないのでしょうか。」

## 藤井

「はい。日々試行錯誤の連続です。この仕事は一度軌道に乗ったからといって安定するものではなく、味の変化や顧客の飽きなどで売上が急に落ちることもあります。そのため、常に状況を見ながら改善策を考え続けています。」

---

## 伴野委員

「メニュー開発についてはどのようにされているのですか？」

## 藤井

「テレビや他店舗の視察、試食などからヒントを得たり、寄付でいただいた食材を活用して新しい商品を考えたりしています。小規模事業所の強みを活かし、日替わりメニューや期間限定商品なども柔軟に取り入れています。」

## 伴野医院

「自分たちで作り、それが売れるという経験は、利用者にとって大きな喜びになりますね。」

## 藤井

「そうですね。自分の関わった商品が売れることは、大きな達成感につながっています。」

---

## 常住委員

「働く機会の提供という意味でも非常に重要だと感じました。特に、初めて働く方にとっては、パンやお菓子作りといった“形になる仕事”は成果が見えやすく、お客様からの評価も直接感じられる点が良いですね。」

「また、メニューを考える過程で“相手にどう伝えるか”“どうすれば買ってもらえるか”といった視点が育まれることも、社会性の向上につながるのではないのでしょうか。」

「今後は、利用者同士で意見交換を行い、それが成果につながったことを実感できるようなフィードバックの機会が増えると、さらに自立に近づくのではないかと感じました。」

## 藤井

「一方で課題もあります。当事業所は福利厚生や人間関係の面で居心地が良く、賃金も比較的高いため、一般就労を希望する方が少ない傾向にあります。」

「将来的には、親亡き後も見据えて自立した生活ができるよう支援していきたいと考えていますが、一般就労への移行は大きな課題です。」

「過去に一般就労へ移行したケースでは、アフターケアとして昼食時のフォローや職場との連携を行うことで定着につながりました。しかし、急に一般就労へ移ると孤立しやすく、それが継続の難しさにつながる場合もあります。」

## 常住委員

「総合的な支援ができる環境は理想的ですが、それがすべての事業所で実現できるわけではない点が課題ですね。」

「実際、居心地の良さから長期利用になる傾向はあると思います。」

---

## 風間委員

「賃金についてですが、月額 12 万円程度とのことですが、これは一般就労への移行を考えるとどのように捉えていますか？」

## 藤井

「就労 A 型としては比較的高水準です。また、5 時間以上勤務できる事業所自体が少ないため、その点でも特徴があります。」

---

## 風間委員

「運営面ではスコア評価なども関係してくるのでしょうか。」

## 藤井

「はい。就労 A 型にはスコア制度があり、当事業所は現在高い評価を維持しています。スコア表により給付費がアップしたり、評価につながる事はあります。他事業所との情報交換や視察も重要な評価項目ですが、実際にはどこも忙しく、170 点以上で見学会を誘ってもその余裕がないような感じでした」

---

## 風間委員

「事務作業などの負担も大きそうですね。」

## 藤井

「非常に大きいです。製造・販売・利用者支援に加え、行政対応や書類作成など業務は多岐にわたります。新規職員が業務量の多さから離職を考えるケースもあり、人材確保も大きな課題です。」

「現在は少人数の職員で運営しており、人手不足の中で何とか回している状況です。利用者も重要な戦力ですが、体制としてはまだ余裕がありません。」

---

## 風間委員

以前ドッグランで騒音の苦情が来ていた件ではその後はどうですか？

## 藤井

対象の方と思われる方へ積極的に挨拶をしたり、清掃活動などを継続することで改善しました。現在は良好な関係が築けています。

---

## 風間委員

「販売面での工夫はありますか？」

## 藤井

「キャッシュレス決済 (PayPay) の導入により、特に出張販売での売上が向上しました。また、ドッグランの

設置や SNS での発信により、遠方からの来店も増えています。」  
「特に SNS の影響は大きく、利用者層の広がりにもつながっています。」

---

### 参加者一同

「さまざまな工夫と努力で運営されていることがよく分かりました。ありがとうございました。」

---

外販のオーダー表の多さに皆様驚かれて  
いました

2台目の発酵機と3段オーブンを導入した  
広くなった厨房

